

話題提供：沖野充彦
(「NPO釜ヶ崎支援機構」事務局長)

「寄せ場」からボーダ
ス化する失業と貧困の現
在をとらえなおす

無料

7月15日(水)

午後1:00~3:00

田中記念館

3階会議室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
info@rchr.osaka-cu.ac.jp

いまや失業と貧困は私たちの社会の普遍的な現実となってしまいました。失業と貧困を「特別な」人びとの問題として、たとえば生活保護受給者や寄せ場の日雇い労働者の問題として局所化し、「あちら側」の問題とみる(そして安心する)ことはできなくなりました。否応なく「私たちの問題」として考えなければならない失業と貧困の現実がうみだされているのです。こうした社会総体の「寄せ場」化ともいえるような状況を、そしてその意味するところを、問題の原点ともいべき「寄せ場」という場所から再度みつめなおし、反失業・反貧困の新たな運動の方向性を探りたいと考えています。